



学校教育目標 「自分の花を咲かせよう」  
～温かな心もち、磨き合い高め合う生徒の育成～  
☎ 73-3017 FAX 72-3017

✉ yamada.jhs@sch.city-yuzawa.jp

YAMACHuコーポレーションブログ



## 自衛隊秋田地方協力本部 シンボルマークコンクール 本部長特別表彰!!

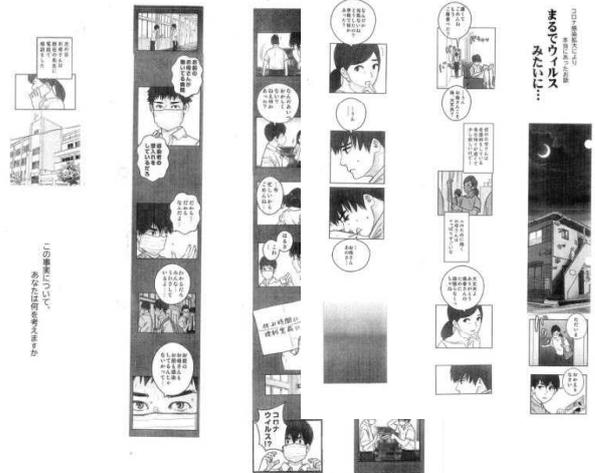


標記の大会に応募した1年の宮原希歩さんが、この度、本部長特別賞を受賞しました。1月27日(水)に本校で行われた授賞式には、階級が一等空佐の本部長さんが来校し、希歩さんに直接賞状を授与しました。自衛隊の広報に寄与した、ということでの受賞です。おめでとうございます。



## 授業に用いた資料『まるでウイルスみたいに…』 【内容】

母親が勤務している病院に新型コロナウイルス感染者が出たため、母親もその息子のハルキも感染しているのではないかと疑われる。周囲の人たちがどんどん自分から離れていくことに心を痛めるハルキ…。



## 全校で考える コロナウイルスとの向き合い方

湯沢市内でも新型コロナウイルス感染の声が聞こえるようになってきました。もはや身近に来ています。コロナ感染者や濃厚接触者、そしてあろうことか感染していない人に対しての誹謗中傷が社会問題になっています。そこで本校では、1月25日(月)にこれらの事象を全校生徒で考える機会をもちました。自分の身近な人が感染したとき、濃厚接触者になったとき、そしてそのような噂を聞いた時、自分を含めた周りの人はどのように接すればよいのかを生徒一人一人が考える必要があると思ったからです。

生徒の発言からは高い問題意識が感じられ、勇気を出して本音を語る生徒もいました。

### 授業の概要

- 1 資料『まるでウイルスみたいに…』を読み、感想について意見を交換する。
- 2 本時で考えたいことを確認する。  
《周囲がどんな風に接するべきか》
- 3 新聞記事『コロナ、中傷やめて』を読む。
- 4 生徒指導主事から誹謗中傷と犯罪との関連についての話を聞く。
- 5 身近にコロナ感染者が確認された時、自分たちはどのように行動するべきか、考えたことをプリントにまとめる。



## 県内当事者 今も心に傷

## コロナ、中傷やめて

### 「犯罪になり得る」 秋田弁護士会が指摘

県内で新型コロナウイルスの感染者が急増している。誰もが感染する可能性があるのに、感染者やその家族、濃厚接触者らへの誹謗（ひぼう）中傷が絶えず、心を痛めている人が大勢いる。取材に応じてくれた人たちは「心ない言葉がどれだけ傷つけているか、当事者の気持ちになって考えてほしい」と訴える。

「この誹謗中傷は、被害者やその家族に大きな精神的苦痛を与えています。中には、誹謗中傷を受けたことで、うつ病や自殺などの深刻な事態に至る方もいます。これは、単なる言葉の問題ではなく、犯罪になり得るレベルの被害です。」と、秋田弁護士会が指摘している。

秋田弁護士会によると、誹謗中傷とは、事実と無関係に、他人の名誉や信用を毀損することをいいます。インターネット上の誹謗中傷も、現実世界での誹謗中傷と同様に法的責任を負います。また、誹謗中傷を受けたことで、被害者の生活や仕事に支障をきたしているケースも少なくありません。

秋田弁護士会では、誹謗中傷を受けた場合、まずは冷静に事実を確認し、必要に応じて弁護士に相談することを推奨しています。また、誹謗中傷を防止するために、SNSでの発言には十分注意し、誹謗中傷を受けた場合は、冷静に対応することが大切です。

これらの他に、考えをまとめるプリント、生徒指導主事がプレゼンテーションで使った資料がありました。(裏面に続きます)

## 授業後の感想

▶ 感染者にも濃厚接触者にも、誹謗中傷したりその人達から離れたりして人を傷つけるようなことはせずに、しっかり自分で感染予防をしていきたいです。そして噂などが流れてきたら広めないで、勇気をもって注意できるようになりたいし、もしそういうことをされているのならば、守ってあげたいです。

(1年女子)

▶ 噂をしたり、差別、中傷をしたりしないようにして、感染者やその濃厚接触者を傷つけない

ようにする。そして自分は感染しないように予防をしっかりする。コロナに感染した人は、かかりたくてかかったわけではないということを理解し、自分がもしその立場になったら、というのを考えて行動するのが大切だと思った。また噂を聞いてもすぐに信じないことや、いろいろな人に広めないようにしたい。(1年女子)

▶ 「どこかの中学校でコロナが出たらしいよ。」というデマが流れれば、僕も、その人がコロナにかかったのではないかと思ってしまうかもしれないので、それが誹謗中傷ということを考えて、相手を傷つけないで、いじめないように、これから行動していきたいと思います。(1年男子)

▶ 感染したともわからないうちに差別したり噂したりしないで、冷静な判断をしてから行動することだと思いました。その他に思ったことは、相手の立場から考えて行動したいと思いました。自分にできることをなるべくして、人の心を傷つけないように行動することが最も大切だということ学びました。(2年女子)

▶ ウソの書き込みや噂をするのはもちろんだめですが、見聞きした噂などを全てうのみにするのもよくないと思いました。誰でも感染してしまうということを頭に入れて、必要以上に恐れずに正しい対応をしたいです。(2年男子)

▶ 身近に感染者が確認された時は、優しく接してあげたりするなど、相手を受け入れたり、相手を不安にさせない行動をすることだと思いました。(2年男子)

▶ この授業で、自分たちで考えて行動し、責任をもって発言をしなければならないということを理解しました。あることないことを書き込み、デマを流して捕まった人を反面教師として、コロナと向き合っていきたいと思いました。偏見はこの世からなくなることはないけれど、悪い偏見を主張するのは、他から見て情けないと思います。(3年男子)

▶ 身近で感染者が確認された時に、まず第一に誹謗中傷をしないことが大切だと再確認できました。そしてその人が、コロナが治って日常生活に戻ってきた時は、その人を避けたり、逆に



変に気を遣うのではなく、何気なく話しかけてあげることが、その人にとって一番よいことだと思います。受検も控えているので、これから感染対策をしっかりしたいです。(3年男子)

▶ 自分たちがコロナに慣れた分、だからこそ考えなければならない内容だったと思います。親の勤務先でコロナ感染者が出た場合、まず自分たちが大丈夫であるか確認するべきだと思います。大丈夫だった場合、周りの人に大丈夫だったことを伝えることが大切だと思います。大丈夫じゃなかった場合も周りの人に感染したと伝えることが大切であると思います。そして、「自分がやられて嫌なことは人にやらない。」という当たり前のことができていない人間を増やすべきではないと思うので、このような授業は必須だと思います。(3年男子)

▶ (新型コロナウイルスは) どうしても見えないので、避けようとしても避けきれないと感じた。そして恐れすぎると不安に変わり、疑心暗鬼になってしまうので、正しい恐れ方を身に付けたい。すごく広まりやすい特徴を持っているので、長期戦になるかもしれないが、予防に努めたいと思った。(3年男子)

▶ 今日の学習で、確かな情報がわかっていないのに、周りの意見に流されることがないようにしたいと思いました。ニュースなどで確かな情報をもとに動かないと、本人や本人の家族まで傷つけることになってしまうことがわかりました。自分も感染した人に誹謗中傷をしないように気を付けたいと思います。(3年男子)

## 今後の指導

この授業を受け、新型コロナウイルスに対する正しい知識を対処法を学ぶために、雄勝中央病院名誉院長で本校の学校運営協議会委員でもある中村正明先生からご講話をいただく予定にしています。日時は2月12日(金)の午後1時30分からです。対象は全校生徒ですが、聴講を希望される方は学校(教頭)までお知らせください。



## 秋田県PTA連合会から 活動補助金をいただきました

秋田県PTA連合会が推進する事業「みんな育てる 秋田ふれあい事業」に本校PTA会長の宮原さんからYAMACHUコーポレーションの活動を推薦いただきました。そしてこの度、当連合会から活動補助金50,000円をいただくことになりました。この事業は「学校、家庭における教育の理解、振興に努め、教育環境の改善充実を図り、次代の担い手としての子どもたちの成長に寄与すること、又、PTA活動の活性化を担うこと」を目的として行われているものです。

今年度のYAMACHUコーポレーションは「地域貢献」を目指し、組織を一新して生徒全員が目的意識をもった上で活動しました。そのことと、ささやかではありましたが地域に何らかの貢献ができたことを評価していただきました。

この助成金はPTAの本会計に繰り入れさせていただきます。有効活用させていただきます。